

(4)下池下流部の嵩上げ(下池・期)

1)目的

下池下流部の水路床を土のうで嵩上げし、下池の水位上昇、水面拡大を図る。

2)基本方針

下池水際部の水生植物等の生育状況、ハンノキ林内の地下水位の状況等をモニタリングしながら、必要な水位を設定する。また、下池と本川の魚類相を把握し、連続性確保の必要性を評価し、必要に応じてその対策を検討する。

3)設計の基本事項

嵩上げ位置()

- ・池幅が狭まるとともに、縦断的にマウンドが形成され、下池の水位を支配している位置で嵩上げを行う。

嵩上げ高さ()

- ・嵩上げ高は、ハンノキ保全再生地、更新サイトにおける望ましい土壌環境を考慮し、地下水位状況等のモニタリングを通じて設定する。

4)配慮事項

段階的な水位調節

- ・水位を急激に変動させた場合、現存する水際部植生の生育に影響が及ぶと思われる。このため、水位は段階的に上げ、地下水位(ハンノキ林の地下水位)や水際部植生の生育状況をモニタリングしながら進める。

魚道の設置

- ・本川と下池の魚類相を調査し、連続性確保の必要性があれば、魚道を設置する。なお、その場合、魚道は簡易的な構造とする。

